

都市は大学と共に

大阪市は、1500年に及ぶ歴史を誇る日本最古の都市であり、江戸時代には「天下の台所」として栄え、近代には日本の産業経済を先導する商工業都市へと歴史の節目節目で華麗な変身を遂げながら、大きく飛躍しました。それぞれの時代におけるわが国の先駆的な都市としての発展と繁栄の礎には、自由進取の気風に富み、バイタリティあふれる市民によるたゆまぬまちづくりがありました。

地方分権が本格化し、全国の各都市に個性と創造性が求められる「都市間競争」の時代を迎えた今日、大阪市は、社会経済の変化や複雑多様化する市民ニーズに的確に対応し、市民が誇りに思い、ゆとりと豊かさを実感できる、「21世紀のモデル都市・大阪」の実現をめざしています。

市民のだれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう、保健・医療・福祉などの施策を二層充実するとともに、教育・文化・スポーツの振興発展を図り、国際集客都市としてのさらなる飛躍をめざして、大阪の産業経済の活性化に力を注いでいます。

大阪市立大学の前身の大阪商科大学を創設する際に、当時の関市長は、国立大学の「コピ」であってもならぬ…大阪市の背景とした学問の創造が無ければならない」と述べています。都市と大学の関係を示し、大学に大きな役割を期待した建学の理念は、70年以上たった今日でもその輝きを失うことはありません。

大阪市立大学は、学術文化の発展をめざす市民の志に支えられ、多くの人材を社会に送り出し、優れた研究成果によって、わが国の発展に大きく貢献してきました。大阪市立大学をめざす皆さんには、自らの個性を磨き、自己を確立する努力を惜しまないことを望みます。次代を担う皆さんの若いエネルギーで、大阪市立大学を、一層市民に愛され世界に貢献できる大学に発展させていただきたいと願っています。



大阪市長
磯村 隆文